

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	白井 克尚	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

自分の問題意識にもとづき、卒業研究論文としてまとめることを通して、論文の書き方を学ぶ。また、一つの仕事を遂行するやり方を学ぶ。最後は、卒業研究論文として仕上げる。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業の方法は、自分の研究についての進行状況を発表しながら、プレゼンテーション力をアップさせるとともに、他者の発表を聞き、自分の意見を言う活動を通じて、コミュニケーション力も養う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	夏休み中の研究の進展状況報告	専門演習Ⅲの後、夏休み中に行った研究について、各自が発表する。	<input type="checkbox"/>
第2回	後期の研究計画	今後、どのように研究を進めていくかについて、研究計画を作成する。困った問題等があれば、皆に相談する。	<input type="checkbox"/>
第3回	先行研究についての検討	それぞれの研究について、先行研究のまとめ方を学ぶ。そして、自分の研究がどのような位置にあるのかを発表する。	<input type="checkbox"/>
第4回	引用文献の書き方を学ぶ	引用文献の書き方について習う。	<input type="checkbox"/>
第5回	分析課題についての検討	自分は何を知りたいのか、何がしたいのか、どんなものを作りたいのか、等の問題関心について発表し、それを文章にする。	<input type="checkbox"/>
第6回	仮説についての検討	調査方法・制作方法・創作方法等について、文章化する。	<input type="checkbox"/>
第7回	研究方法についての検討	研究方法について学ぶ。さらに、どのようにして知りたい結果を出すのかを検討する。	<input type="checkbox"/>
第8回	分析結果についての検討	分析結果について検討する。さらに、どのようにすれば、課題を解決できるかについて検討する。	<input type="checkbox"/>
第9回	研究成果についての検討	研究成果について、どのように出すのかについて説明を聞き、疑問点を質問する。	<input type="checkbox"/>
第10回	研究課題についての検討	研究成果について、どのように出すのかについて説明を聞き、疑問点を質問する。	<input type="checkbox"/>
第11回	研究としての一貫性についての検討	研究として一貫性があるかについて考える。「問題の所在」と「仮説」と「研究の成果と課題」が合っているかについての確認を、発表しながら検討する。	<input type="checkbox"/>
第12回	卒業研究論文の完成	今までのものをすべてまとめて、卒業研究を完成させる。	<input type="checkbox"/>
第13回	研究概要の作成	研究概要を作成する。	<input type="checkbox"/>
第14回	卒業研究発表会用の準備	卒業研究発表会に使用するポスター、製作物、表現の準備を行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめとプレゼンテーションの練習	プレゼンテーションの練習と全体を通して、反省も含めたディスカッションを行う。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習として、次回の授業を理解するために、毎回指示するテーマや課題を予め調べておく(2時間程度)。事後学習として、授業で扱ったテーマや課題について関連資料を参照しながら復習する(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

・研究成果の発表は、感想交流を通してフィードバックし、全体で共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	自分の興味関心に基づいた研究テーマを決定することができる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	研究計画を具体的にしっかりと立てることができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	問題意識をもち、自分で研究を進めることができる。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験 (Written exam)	実技試験 (Practical exam)	レポート試験 (Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他 (Other)
0%	0%	0%	60%	40%
授業内試験等 (具体的内容) (Specific contents) 課題提出をもって、出席とする。毎回の授業の振り返りから、授業への取り組みの様子を評価する。卒業研究発表会において、他者の発表をしっかりと聞き、自分なりに考えて、適切な意見が出せたか、表現力・思考力・判断力を評価する。				

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	授業の中で、適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	稲垣忠彦・佐藤学『授業研究入門』岩波書店, 1996年	
2	佐藤学『教師というアポリアー-反省的实践へ』世織書房, 1998年	
3	佐藤学『教師たちの挑戦-授業を創る、学びが変わる』小学館, 2003年	
4	佐藤学『教育方法学』左右社, 2010年	
5	佐藤学『学び その死と再生』太郎次郎社, 2015年	